



**デュロキセチンカプセル・OD錠「ニプロ」**  
**患者さん向け服薬指導箋**  
**【うつ病・うつ状態】**

# デュロキセチンカプセル・OD錠「ニプロ」 を服用される患者さんとご家族の方へ

デュロキセチン「ニプロ」には、飲み薬として一般的なカプセル剤と口の中で崩壊し水なしでも服用できる口腔内崩壊錠(OD錠)の2つの剤形があります。

カプセル20mg「ニプロ」 カプセル30mg「ニプロ」



デュロキセチンカプセル 20mg(ニプロ)

デュロキセチン  
20mg  
デュロキセチン  
20mg  
デュロキセチン  
20mg



デュロキセチンカプセル 30mg(ニプロ)

デュロキセチン  
30mg  
デュロキセチン  
30mg  
デュロキセチン  
30mg

OD錠20mg「ニプロ」



デュロキセチン  
OD 20  
ニプロ

デュロキセチン  
OD 20  
ニプロ  
デュロキセチン  
OD 20  
ニプロ

OD錠30mg「ニプロ」



デュロキセチン  
OD 30  
ニプロ

デュロキセチン  
OD 30  
ニプロ  
デュロキセチン  
OD 30  
ニプロ

錠剤(実物大)、PTPシート(50%縮小)

## ご使用前の注意

- 7~17歳の大うつ病性障害のある患者さんがこのお薬を飲んだ場合、有効性が確認できなかったという報告があります。18歳未満の大うつ病性障害のある患者さんは、医師と十分に相談してください。

## このお薬の飲み方

- 飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。  
医師の指示どおりに服用してください。
- カプセル剤は、カプセルをあけたりせず、コップ1杯程度の水またはぬるま湯でそのまま飲んでください。
- OD錠は口の中で崩壊しますが、その後は唾液またはコップ一杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。ただし、寝たままの状態では水またはぬるま湯なしで飲まないでください。
- カプセル剤、OD錠ともに腸溶性コーティングを施していますので、すりつぶしたり、かみ碎かずに服用してください。
- このお薬は、体調がよくなったとご自身で判断して服用を中止したり、飲む量を減らしたりすると、「些細なことでも心配になる、いらいら、あせり」などの症状があらわれることがあります。よくなった症状を維持するためにも医師の指示どおりに飲み続けてください。



## 飲み忘れた場合の対応

- 飲み忘れに気がついたときに、できるだけ早く1回分を飲んでください。ただし、次の服用時間が近い場合は1回とばして、翌日に1回分を飲んでください。  
決して2回分を一度に飲まないでください。

## お薬の効果について

- このお薬は、脳内に作用し、脳内の神経伝達をスムーズにし、抑うつ気分や不安を和らげます。

## 服用中の注意

- 眠気やめまいなど、自動車の運転に影響を与える症状があらわれることがありますので、注意してください。これらの体調不良を自覚した場合は、絶対に運転しないでください。
- このお薬を服用中は、飲酒を控えてください。
- 妊婦または妊娠している可能性のある方、授乳中の方は医師に相談してください。
- ご高齢の方は、めまいなどにより転倒することがありますので、注意してください。
- うつ病やうつ状態の患者さんは、死んでしまいたいと感じことがあります。このお薬を飲んでいる間、特に飲み始めや飲む量を変更した時に、不安感が強くなり死にたいと思うなど症状が悪くなることがあります。このような症状があらわれた場合は、医師に相談してください。
- 次のような症状があらわれた場合には、医師に相談してください。

不安になる、いろいろする、あせる、興奮しやすい、発作的にパニック状態になる、ちょっとした刺激で気持ちや体の変調を来す、敵意を持つ、攻撃的になる、衝動的に行動する、じっとしていることができない

このお薬との関連性は明らかではありませんが、これらの症状があらわれた患者さんの中には、うつ症状などのもともとある病気の症状が悪化する場合や、死んでしまいたいと感じたり、他人に対して危害を加えたりする場合があります。

## ～ご家族の方へ～

「死にたいという気持ちになる、興奮しやすい、攻撃的になる、ちょっとした刺激で気持ちの変調を来す」などの患者さんの行動の変化やうつ症状などのもともとある病気の症状が悪化する危険性について、医師から十分に理解できるまで説明を受け、患者さんの状態の変化について観察し、変化がみられた場合には、医師に連絡してください。また、患者さんご自身も病状に変化があったと感じた場合には、ご家族や周囲の方にも伝えるようにしてください。

- 他の医療機関を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこのお薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。
- お薬は直射日光と湿気を避けて室温(1～30℃)で保管してください。
- その他、気になることがありましたら、医師または薬剤師に相談してください。



医療機関名